

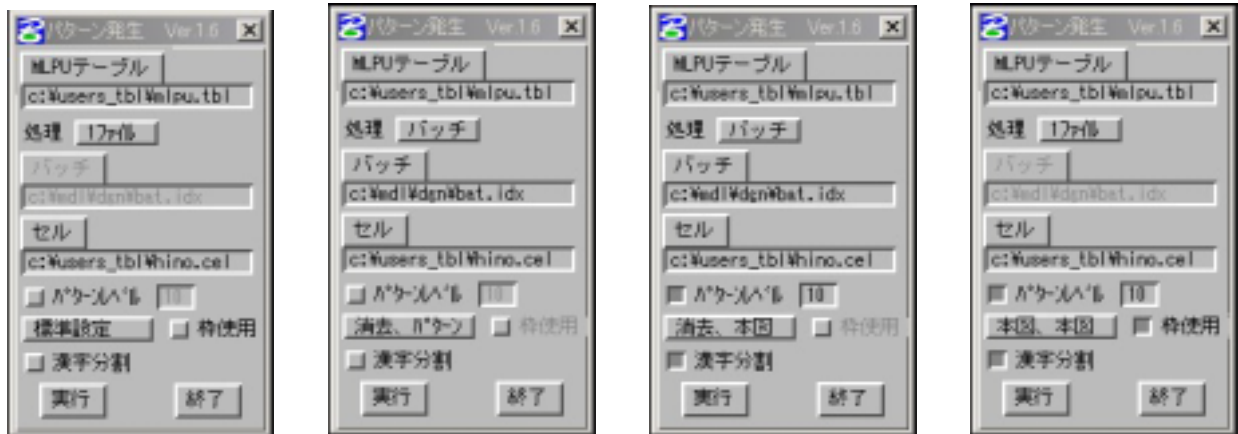
# パターン発生プログラム

## 1．処理内容

MLPUテーブルで設定したレイヤーと一致する、「線分・連続線分・多角形・複合連結・複合図形」をパターン化します。

## 2．起動

mdl 1 ptnと入力して下さい。



## 3．設定

[ MLPUテーブル ] 作業している物件の“mlpu.tbl”を設定します。

ボタンを押すと、テーブルを選択できます。拡張子は“.tbl”です。

ボタンを押さずにテキスト欄に直接入力しても選択できます。

テーブルの構成内容は以下の通りです。

LV	CO	WT	LC	セル名	サイズ	CO	WT	LC
:	:	:	:	:	:	:	:	:
#DEL	LV	CO	WT	LC				
:	:	:	:	:				

・ “ ; ”（セミicolon）で始まる行は無視します。

[ 処理 ] ボタンの切り替えで、『1ファイル』『バッチ』から処理方法を選択できます。

[ バッチ ] [ 処理 ]で『バッチ』を選択すると、以下の操作が可能になります。  
ボタンを押すと、バッチテーブルを選択できます。拡張子は“.idx”です。  
ファイル名のみだと、現在開いているファイルのフォルダ内が対象となります。  
フルパスを入れると、パスを読み取ってディレクトリを移動します。  
この時フォルダ名に漢字を使っても構いません。  
ボタンを押さずに、テキスト欄に直接入力しても選択できます。  
“ ; ”（セミicolon）で始まる行は無視します。

ファイル名のみでパッチテーブルを作成している場合、“MicroStation”をダブルクリックして立ち上げていると、今いるディレクトリで処理されない場合があります。

- [セル] ボタンを押すと、セルライブラリを選択できます。拡張子は“.cel”です。  
それぞれ、物件ごとに選択してください。  
ボタンを押さずにテキスト欄に直接入力しても選択できます。
- [パターンパル] ボタンをONにすると、発生させるパターンのレベルを設定できます。  
OFFにしていると、元要素のLVで発生します。
- [処理設定] 元要素とパターンの作図の設定を4種類から選べます。  
『標準設定』 ... 元要素を線パターンにし、新たにパターン要素を作図します。  
『消去、パターン』 ... 元要素を消去し、新たにパターン要素を作図します。  
『消去、本図』 ... 元要素を消去し、新たにパターン要素を本図で作図します。  
『本図、本図』 ... 元要素はそのままに、パターン要素も本図で作図します。
- [枠処理] トグルボタンをONにすると、枠の設定に従ってパターンを発生します。  
【切り取り】ではプログラムを実行できません。
- [漢字分割] ボタンをONにすると、フォント「0:kanji」で入力されている文字を分割します。  
縦書の“( ” “ ) ” “ - ” “ - ”は回転されて、正しい向きで表示されます。  
“・”は、塗りつぶされて表示されます。縦書の場合は、位置のずれを修正します。  
“・”の塗りつぶし部分は、“NAKATN”というセルで入力されます。

## 4. 実行

実行ボタンを押すと、「圧縮はしましたか？ 本当に実行しますか？」と聞いてきますので、準備ができていたら[OK]を押してください。処理を開始します。

必ずしも【デザインを圧縮】しなかったからといって落ちるわけではありませんが、正確な処理結果を求める為にも処理前に圧縮してください。

パッチで処理している場合、“ .idx ”と同じフォルダに、拡張子を変更した  
“ .log ”というログファイルが作成されます。  
内容は下記ようになります。

デザインファイル名(フルパス)	処理数
C:\¥mdl¥dgn¥ptn¥p05mc6111.dgn	320
C:\¥mdl¥dgn¥ptn¥phinotest.dgn	1258
C:\¥mdl¥dgn¥ptn¥pmapme073.dgn	774
C:\¥mdl¥dgn¥ptn¥pmb49-4.dgn	1310

[枠使用] がONになっているのに枠が張られていない場合、「枠が未定義です。」と警告文を表示し、処理を中止します。枠を張っていると、処理を開始します。

H15. 6.17	パターン発生プログラム完成。	Ver1.0
H15. 8.11	[ 処理設定 ] に『消去、本図』を追加。	Ver1.1
H15. 9. 2	・[ 漢字分割 ] を追加。  ・バッチ時に、ファイル数が表示されるように変更。	Ver1.2
H15.10.15	注記の midpoint の塗りつぶし用サークルを、“NAKATN” というセルで発生するように変更。	Ver1.3
H15.11.17	[ 枠使用 ] をオフで処理を行なったとき、生垣等パターンが掛かると弧になる要素のレイヤーが変わらなかったのを修正。	Ver1.4
H15.12. 5	ラインセルが図形セルだと、パターン化の後のレイヤーチェンジが出来なかったのを修正。	Ver1.5
H16. 5.17	・一度 ptn で処理した dgn にもう一度処理をかけると、レイヤーがおかしくなるのを修正。  ・枠で処理をするとき、【内側重なり】だと枠の内側しかレイヤーが変更されなかったのを、重なっている要素全てが変更されるように修正。  ・同じく枠で処理する場合、ファイル全体ではなく枠内のグループ番号の末尾に追加されていたのを、ファイル全体の末尾に追加されるよう修正。	Ver1.6